

事業番号	事業名	内容	対象外項目番号
1	農道維持管理事業	農道等維持管理(修繕)業務	-
	土木総務運営事務事業		
2	議会対応事業	一般質問、総括質疑の答弁調整	②
3	庁議運営事業	政策会議、行政幹部会議	②
4	予算編成事業	予算編成、決算、監査対応業務	②
5	広報事業	広報編集	②
6	調査事業	町内外の調査対応	②
7	訴訟対応事業	訴訟案件業務	②
8	町道認定事業	町道の認定、廃止、変更、区域の変更業務	⑦
9	境界確定事業	道路、河川、水路敷等の境界査定に関する業務	⑦
10	町道用地整理事業	道水路の寄附、付替え、廃止の業務	⑦
11	道路管理事業	道水路の占有、掘削、自費工事、規制、不法占拠の排除及び道路管理全般に係る業務	⑦
12	地籍調査事業	地籍調査に関する業務	⑤
13	公用車管理事業	公用車の管理に関する業務	⑦
	国道整備促進事務事業		
14	要望活動事業	国県に係る整備促進に関する業務	⑦
15	砂防事業	砂防事業に関する業務	⑦
16	二級河川整備促進事務事業	二級河川の整備促進に関する業務	⑦
	道路橋りょう総務運営事務事業		
17	道水路等要望受付事業	道水路等に係る要望の受付に関する業務	⑦
18	道水路等補修要望対応事業	道水路等に係る要望の対応に関する業務	③
19	道水路用地借用事業	道水路用地の借用に関する業務	③
20	道路照明灯維持管理事業	道路照明灯の維持管理業務	③
	道路維持運営事務事業		
21	施設管理業務	地下道ポンプ、街路樹、側溝等浚渫に関する維持管理業務	-
22	道路修繕業務	道路等の修繕に関する業務	-
	旧東海道松並木(大磯高麗1号線)維持管理事業		
23	旧東海道松並木(大磯高麗1号線)維持管理事業	松並木敷の維持管理に関する業務	③
24	旧東海道松並木(大磯高麗1号線)整備活用事業	松並木敷の整備活用に関する業務	⑦
	道水路維持管理整備事業		
25	道水路維持修繕事業	道水路の維持管理に必要な維持整備工事	③
26	道水路境界確定事業	道水路の維持管理に必要な確定測量調査	③

事業 番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
27	橋りょう長寿命化修繕事業	1橋の長寿命化設計委託	③
28	道路確定調査事業	道路新設改良に伴う境界の確認、復元及び未完了地の土地の補償業務	③
	狭あい道路整備事業		
29	狭あい道路修繕事業	拡幅後の修繕工事に関する業務	③
30	狭あい道路境界確定事業	狭あい道路に係る道路査定に関する業務	⑦
31	狭あい道路補償調査委託事業	狭あい道路に係る補償調査委託に関する業務	③
32	狭あい道路測量調査委託事業	狭あい道路に係る測量調査委託に関する業務	③
33	狭あい道路土地購入事業	狭あい道路に係る土地購入、補償に関する業務	③
34	国府本郷西小磯1号線整備事業	道路拡幅整備工事	③
35	国府本郷月京1号線整備事業	測量調査委託に関する業務	③
36	生沢月京1号線整備事業	測量調査委託に関する業務	③
37	月京1号線整備事業	測量調査委託に関する業務	③
	災害復旧事業		
38	農業用施設災害復旧事業	農道等災害復旧業務	⑦
39	道路橋りょう施設災害復旧事業	公道、橋梁等災害復旧業務	⑦







予算事業名	農道等維持管理事業							事業番号	03 - 10 - 01		
細分事業名	—							シート作成日	令和1年8月30日		
予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	05	事業	01	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
都市建設部				建設課				道路管理係			

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	V 個性と魅力と活力のあるまちづくり								
		部門	5 農業								
		大施策	B 生産・流通環境の充実								
		中施策	(1) 農業生産力の向上								
		施策目標	各地域の地形などに応じた営農類型の指導を行い、重点作物の調査選定を行います。								
	根拠法令・条例等		—								
	個別計画等		—								
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—			
	目的 (何のために)		町内全域の農道の適切な維持管理を行い、良好な環境を維持する。								
	対象 (誰を・何を)		農道								
内容		農道の補修									

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり									
	事業費	財源内訳	直接事業費 (a)	千円	H28年度 (決算)	2,981	H29年度 (決算)	2,992	H30年度 (決算見込)	2,868	R01年度 (予算)	3,900
			国庫支出金	千円								
			県支出金									
			起債									
			その他									
			一般財源		2,981	2,992	2,868	3,900				
	職員人数 (概算職員数)	人	0.59	0.39	0.21	0.37						
	人件費計 (b)	千円	3,190	2,113	1,141	1,682						
	総事業費 (a) + (b)	千円	6,171	5,105	4,009	5,582						
事業費内訳 (千円) R 01 年度		修繕料 : 3,900千円										
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				重点作物選定数		目標値			
							3件					
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)				
	対象指標 (対象者数等)	工事箇所	箇所	—	3	3	3	3				
	活動指標 (活動量)	工事箇所	箇所	計画値	3	3	3	3				
				実績値	3	3	—	—				
	成果指標 (達成度等)	工事の完成率	%	目標値	100	100	100	100				
実績値				100	100	—	—					
達成率				100.0%	100.0%	—	—					
定性的成果		—										

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	② 統合に向けた検討は可能		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	直営作業を主体とした迅速な対応をするとともに、業者委託を抑える一方、業者委託による修繕工事を適切に対応し、効率的な維持管理を心掛けている。			
課題	今後も、直営作業を主体として行うが、職員の現場対応スキルの向上が望まれる。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	<b>維持</b>	H30年度	維持	H29年度	—	H28年度	—	
		理由	維持管理の手法としては現行のままで良いと思われる。							
	課題解決への視点	産業観光課とともに、各年度の改善点を明確にし、農業者の要望を的確に把握し、対応していく必要がある。								
	着手する事項	R01年度	産業観光課とともに、令和元年度の改善点を明確にする。							
		R02年度	産業観光課とともに、令和2年度の改善点を明確にする。							
	R01年度改善事項	要望の主旨を十分に把握したうえで、業者委託による修繕工事を適切に執行することで効率的な維持管理を心掛けた。								
	記入日	令和2年2月28日								

予算事業名	道路維持運営事務事業							事業番号	03 - 10 - 21		
細分事業名	施設管理業務							シート作成日	令和1年8月30日		
予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	02	事業	01	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
都市建設部				建設課				道路管理係			

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	V 個性と魅力と活力のあるまちづくり								
		部門	4 道路・交通								
		大施策	A 道路整備の推進								
		中施策	(2) 町道・橋りょうの整備								
		施策目標	道路、橋りょう等の計画的な修繕及び整備に取り組みます。								
	事業の概要	根拠法令・条例等	—								
	個別計画等	—									
	行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—				
	目的 (何のために)	道路施設について適切な維持管理を行い、生活道路としてよりよい状態に保つ。									
	対象 (誰を・何を)	排水ポンプ、街路樹、側溝等									
内容	排水ポンプの維持管理、街路樹の剪定及び側溝等の浚渫。										

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり									
	事業費	財源内訳	直接事業費 (a)	千円	H28年度 (決算)	5,466	H29年度 (決算)	6,136	H30年度 (決算見込)	6,719	R01年度 (予算)	7,000
			国庫支出金	千円								
			県支出金									
			起債									
			その他									
			一般財源		5,466	6,136	6,719	7,000				
	職員人数 (概算職員数)	人	0.32	0.24	0.21	0.18						
	人件費計 (b)	千円	1,847	1,354	1,141	1,060						
	総事業費 (a) + (b)	千円	7,313	7,490	7,860	8,060						
事業費内訳 (千円) R 01 年度	管理委託料 : 7,000千円											
指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値					
			橋りょう長寿命化実施済の橋りょう数				9橋					
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)				
	対象指標 (対象者数等)	ポンプ点検箇所	箇所	—	19	19	18	18				
	活動指標 (活動量)	ポンプ点検完了箇所	箇所	計画値	19	19	18	18				
				実績値	19	19	—	—				
	成果指標 (達成度等)	点検完了率	%	目標値	100	100	100	100				
				実績値	100	100	—	—				
達成率				100.0%	100.0%	—	—					
定性的成果	—											



事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	② 統合に向けた検討は可能		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	業者委託を極力減らすために、直営作業による対応の可否を前提に、効率的な予算執行を心掛けている。			
課題	今後も、直営作業を主体として行うが、職員の現場対応スキルの向上が望まれる。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	<b>維持</b>	H30年度	維持	H29年度	—	H28年度	—	
		理由	業者委託及び直営作業による効率的な対応を行うため、現行のままで良いと思われる。							
	課題解決への視点	排水施設等の浚渫で業者委託件数が増加した場合の予算の確保等。								
	着手する事項	R01年度	業者委託及び直営作業による効率的な対応を行う。							
		R02年度	業者委託及び直営作業による効率的な対応を行う。							
	R01年度改善事項	直営作業を減らし、業者委託を増やすことにより、効率的に実施した。								
	記入日									
	令和2年2月28日									

予算事業名	道路維持運営事務事業							事業番号	03 - 10 - 22			
細分事業名	道路修繕業務							シート作成日	令和1年8月30日			
予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	02	事業	01	事業開始年度	—
												事業終了予定年度
部等名				課等名				係名				
都市建設部				建設課				道路管理係				

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	V 個性と魅力と活力のあるまちづくり								
		部門	4 道路・交通								
		大施策	A 道路整備の推進								
		中施策	(2) 町道・橋りょうの整備								
		施策目標	道路、橋りょう等の計画的な修繕及び整備に取り組みます。								
	根拠法令・条例等		—								
	個別計画等		—								
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—			
	目的 (何のために)		道路施設について適切な維持管理を行い、生活道路としてよりよい状態に保つ。								
	対象 (誰を・何を)		町内全域の道水路								
内容		道水路の維持修繕業務									

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり				
			単位	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)
	直接事業費 (a)		千円	20,170	20,255	22,417	15,286
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		20,170	20,255	22,417	15,286
	職員人数 (概算職員数)		人	0.64	0.52	0.34	0.18
	人件費計 (b)		千円	3,694	2,934	1,848	1,060
総事業費 (a) + (b)		千円	23,864	23,189	24,265	16,346	
事業費内訳 (千円) R 01 年度		消耗品費：170千円 印刷製本費：6千円 修繕料15,000千円 工事用材料費：100千円 測量用材料費10千円					
本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
		橋りょう長寿命化実施済の橋りょう数			9橋		
指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算見込)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)
対象指標 (対象者数等)	工事箇所	箇所	—	22	25	14	50
活動指標 (活動量)	工事箇所	箇所	計画値	22	25	14	50
			実績値	22	25	—	—
成果指標 (達成度等)	工事完成率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	—	—
			達成率	100.0%	100.0%	—	—
定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による町民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	② 統合に向けた検討は可能		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-③ 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過(過去4年間)	業者委託を極力減らすために、直営作業による対応の可否を前提に、効率的な予算執行を心掛けている。			
課題	今後も、直営作業を主体として行うが、職員の現場対応スキルの向上が望まれる。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	<b>維持</b>	H30年度	維持	H29年度	—	H28年度	—	
		理由	業者委託及び直営作業による効率的な対応を行うため、現行のままで良いと思われる。							
	課題解決への視点	年度途中での業者委託が必要な突発的な案件の効率的な予算執行が求められる。								
	着手する事項	R01年度	業者委託及び直営作業による効率的な対応を行う。							
		R02年度	業者委託及び直営作業による効率的な対応を行う。							
	R01年度改善事項	現場作業員の人員（アルバイト）確保により、効率的な対応を図ることができた。								
	記入日									
	令和2年2月28日									